

平成12年(2000年)中部地域産業連関表について

平成16年12月21日
中部経済産業局

当局では昭和35年(1960)以降5年毎に中部地域の産業連関表を作成してまいりました。このたび、経済産業省、各経済産業局と連携してとり進めていた「平成12年中部地域産業連関表」の作成作業が終了しましたので、その概要を公表いたします。

なお、詳細は、別途とりまとめる報告書に掲載し(来年2月頃発行予定)、ホームページで掲載する予定です。(URL: www.chubu.meti.go.jp)

また、今回は分析の用途により資する目的で、東海表をとりまとめております。

平成12年中部地域の産業構造の概況

今回取りまとめた平成12年中部地域産業連関表から中部地域の産業構造をみると、以下のとおりである。

1. 供給側からみると、平成12年の財貨・サービスの総供給額は約152兆円であり、うち、生産額は約114.5兆円、輸移入額は約37.5兆円である。平成7年に比べ、輸移入の構成比がやや高まった。
2. 生産額の費用構成の内訳を見ると、生産に用いられた原材料・燃料等の財及びサービスの間投投入額は約58兆円であり、生産額に占める割合を示す中間投入率は約50%である。生産額のもう一つの構成要素である粗付加価値額は約57兆円であり、生産額に占める割合を示す粗付加価値率は約50%である。
3. 需要面からみると、平成12年の財貨・サービスの総需要額は約152兆円であり、うち、生産活動用の原材料・燃料等の財及びサービスに対する中間需要が58兆円、最終需要額が約94兆円である。最終需要額の内訳は、最終消費が約36兆円、投資が約15兆円、輸出が約11兆円、移出が約32兆円であり、平成7年に比べ、中間需要の構成比に大きな変化はみられなかったものの、輸出の構成比がやや高まり、移出の構成比がやや低下した。

〒460-8510

名古屋市中区三の丸2-5-2

中部経済産業局 総務企画部 調査課

tel:052-951-2723(直通) fax:052-950-1763

E-mail: qchbsr@meti.go.jp

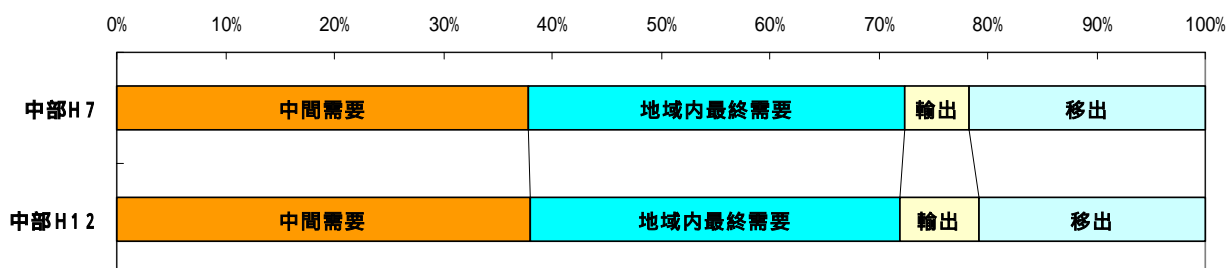
URL: <http://www.chubu.meti.go.jp>



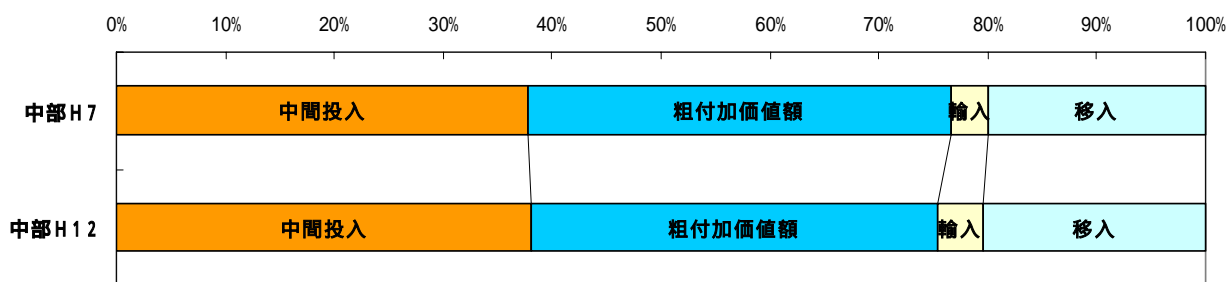
総需要と総供給

平成12年の総需要、総供給は約152兆円になっている。また、移出移入をみると、移出超過型から移出入水平型へやや変化している。

総需要の構成比



総供給の構成比



(単位: 10億円、%)

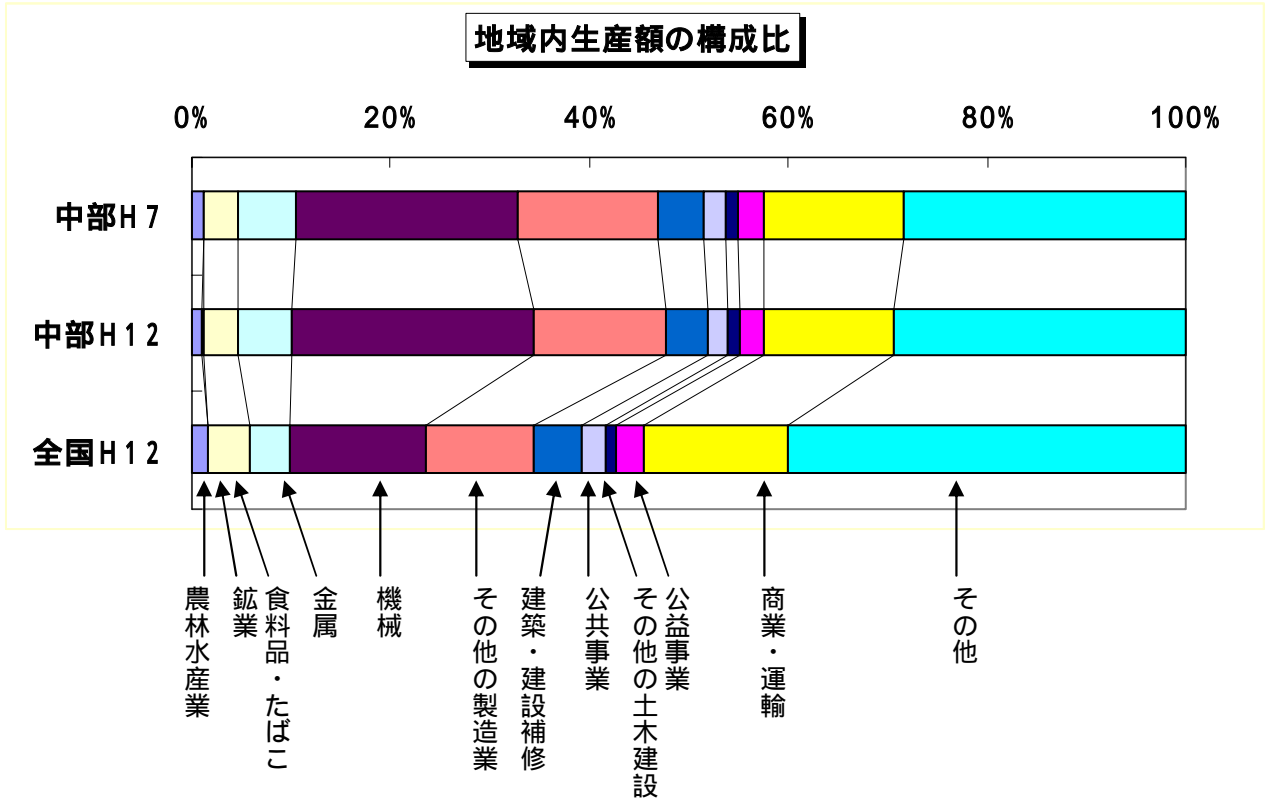
	金額	金額			対全国シェア	構成比		
		中部H7	中部H12	全国H12	中部H12	中部H7	中部H12	全国H12
総需要	中間需要	56,524	57,857	429,955	13.5	37.8	38.0	43.4
	域内最終需要	51,574	51,612	503,942	10.2	34.5	33.9	50.8
	輸出	8,992	10,910	57,487	19.0	6.0	7.2	5.8
	移出	32,328	31,681	-	-	21.6	20.8	-
総供給	中間投入	56,524	57,857	429,955	13.5	37.8	38.0	43.4
	粗付加価値額	58,054	56,677	507,268	11.2	38.9	37.3	51.2
	輸入	5,104	6,349	54,161	11.7	3.4	4.2	5.5
	移入	29,735	31,176	-	-	19.9	20.5	-
	需要 = 供給	149,417	152,059	991,384	15.3	100.0	100.0	100.0

用語の解説 [総需要]

総供給 (地域内生産額 + 輸移入) に対応するもので、地域内需要と輸移出の合計である。

地域内生産額（構成比の推移）

地域内生産額の構成比をみると、第2次産業の割合が高くなっている。



(単位: 10億円、%)

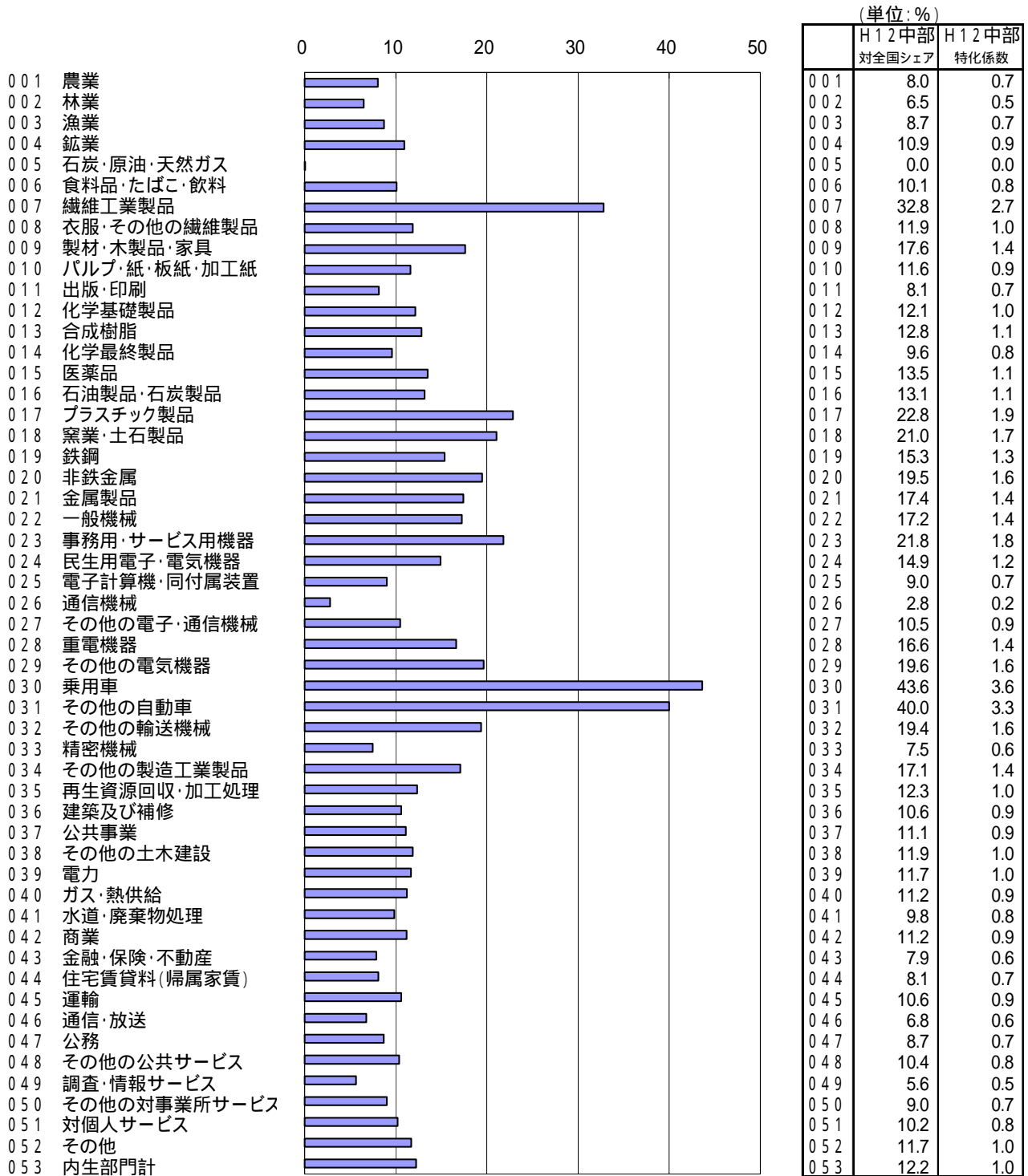
	地域内生産額			対全国シェア	構成比		
	中部H7	中部H12	全国H12	中部H12	中部H7	中部H12	全国H12
農林水産業	1,291	1,144	14,370	8.0	1.1	1.0	1.5
鉱業	158	137	1,379	9.9	0.1	0.1	0.1
食料品・たばこ	3,899	3,931	38,983	10.1	3.4	3.4	4.2
金属	6,753	6,210	36,995	16.8	5.9	5.4	3.9
機械	25,562	28,088	128,596	21.8	22.3	24.5	13.7
その他の製造業	16,036	15,096	102,049	14.8	14.0	13.2	10.9
建築・建設補修	5,413	4,765	44,906	10.6	4.7	4.2	4.8
公共事業	2,364	2,458	22,133	11.1	2.1	2.1	2.4
その他の土木建設	1,364	1,218	10,272	11.9	1.2	1.1	1.1
公益事業	3,002	2,977	26,799	11.1	2.6	2.6	2.9
商業・運輸	16,336	14,902	135,097	11.0	14.3	13.0	14.4
その他	32,399	33,608	375,647	8.9	28.3	29.3	40.1
内生部門計	114,577	114,533	937,223	12.2	100.0	100.0	100.0

用語の解説 [地域内生産額]

地域内生産額（CT）は、中間生産物（原材料、部品等）を含むすべての財貨・サービス。基本的には当該産業の産出高（商品の生産高やサービスの売上高等）をもって計測される。

地域内生産額（対全国シェア）

生産額の対全国シェアは、約12.2%になっている。



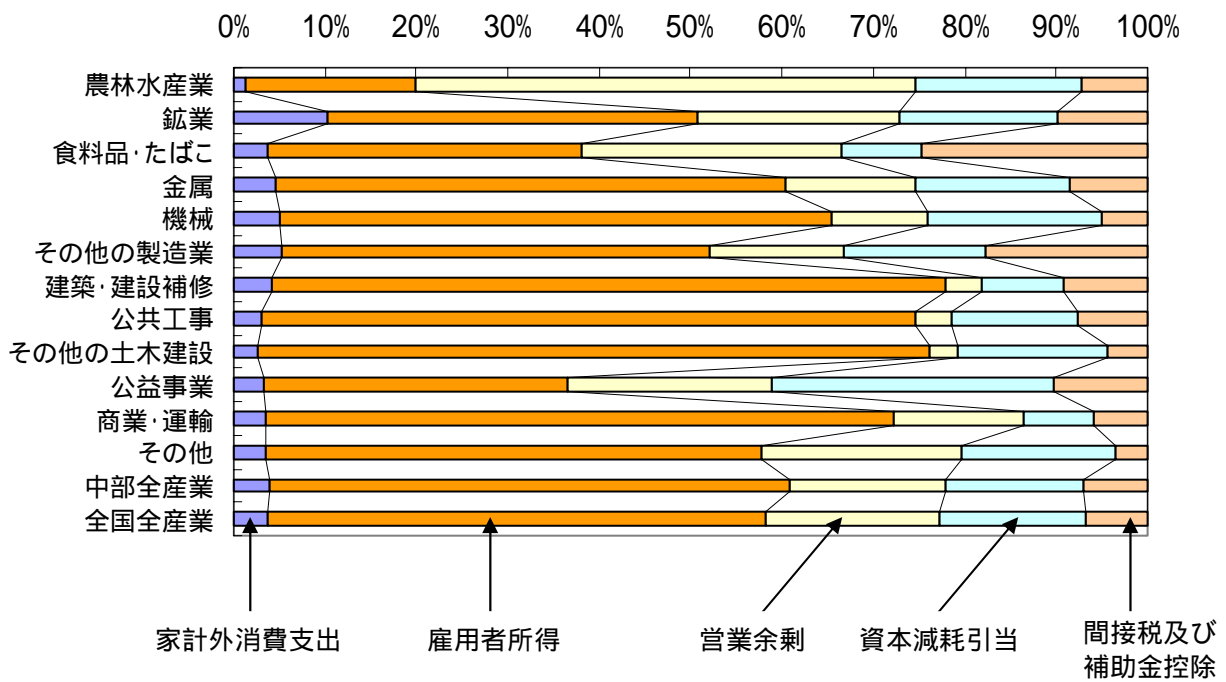
用語の解説 [特化係数]

(ある産業の地域内生産額の構成比) ÷ (ある産業の国内生産額の構成比)
 係数が1より大きい場合、当該産業の度合いが全国のそれより高い。

粗付加価値の構成比

H12年の産業別付加価値額をみると、総額は約56.7兆円になっている。その内訳をみると、雇用者所得が56.9%を占めている。

粗付加価値の部門別構成比

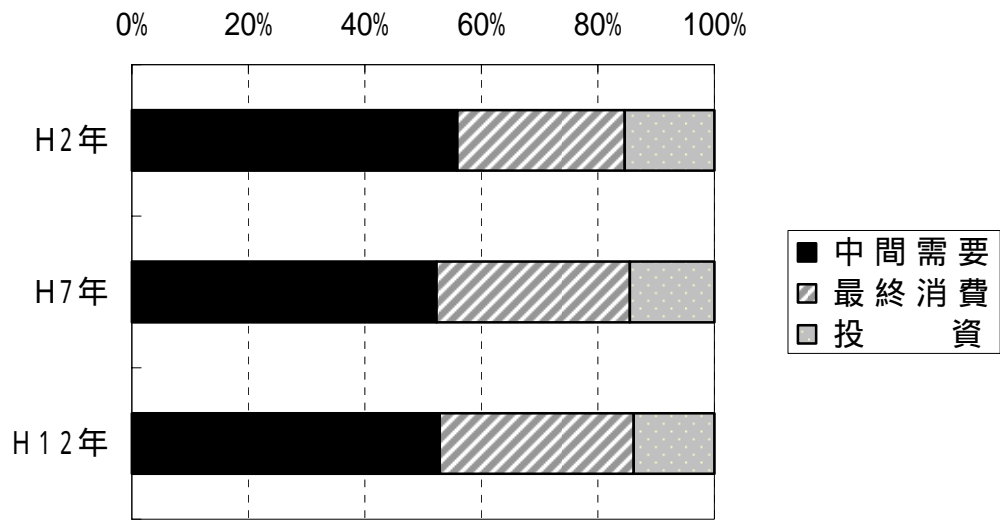


(単位: %)

	家計外消費支	雇用者所得	営業余剰	資本減耗	間接税及び補助金控除
農林水産業	1.4	18.5	54.6	18.3	7.2
鉱業	10.3	40.5	22.1	17.3	9.8
食料品・たばこ	3.7	34.4	28.3	8.9	24.6
金属	4.6	55.9	14.1	16.9	8.5
機械	5.0	60.4	10.4	19.1	5.0
その他の製造業	5.2	46.9	14.5	15.7	17.6
建築・建設補修	4.1	73.7	4.1	9.0	9.1
公共工事	3.1	71.5	4.0	13.7	7.7
その他の土木建設	2.5	73.7	2.9	16.5	4.4
公益事業	3.4	33.1	22.5	30.8	10.3
商業・運輸	3.5	68.6	14.2	7.7	5.9
その他	3.5	54.3	21.9	16.9	3.5
中部全産業	3.9	56.9	17.1	15.2	6.9
全国全産業	3.8	54.3	19.0	16.0	6.9

域内需要

H12年の域内需要をみると、中間需要が約53%、域内最終需要が約47%になっている。



(単位: 10億円, %)

	金額			構成比		
	H2年	H7年	H12年	H2年	H7年	H12年
中間需要	58,405	56,524	57,857	55.9	52.3	52.9
最終消費	29,994	35,906	36,483	28.7	33.2	33.3
投資	16,101	15,667	15,128	15.4	14.5	13.8
域内最終需要	46,095	51,573	51,611	44.1	47.7	47.1
域内需要計	104,500	108,097	109,468	100.0	100.0	100.0

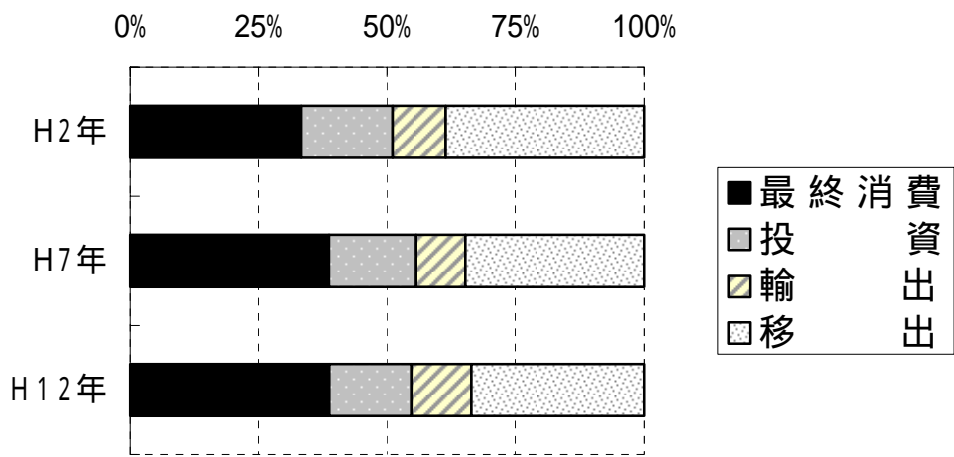
用語の解説 [域内需要]

域内需要 = 中間需要 + 域内最終需要。域内における前需要である。域内需要に占める輸入品の割合が輸入比率。また、域内需要に占める自地域生産品の割合が自給率である。

最終需要

H12年の最終需要の構成をみると、消費が約39%、投資が約16%、輸移出が約45%になっている。

最終需要（最終消費 + 投資 + 輸出 + 移出）



(単位:10億円、%)

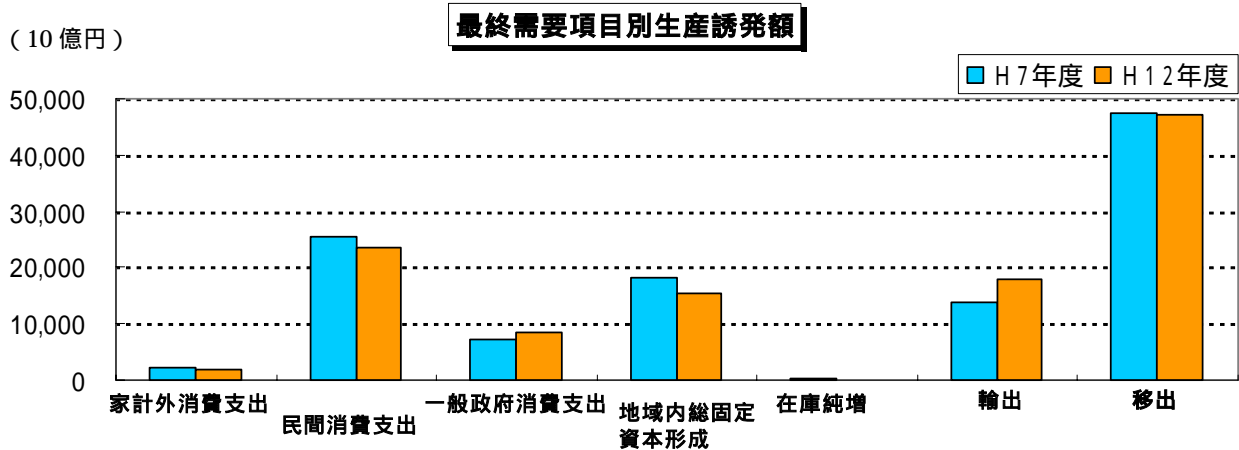
	金額			構成比		
	H2年	H7年	H12年	H2年	H7年	H12年
最終消費	29,994	35,906	36,483	33.3	38.7	38.7
投資	16,101	15,667	15,128	17.9	16.9	16.1
輸出	9,238	8,992	10,910	10.2	9.7	11.6
移出	34,856	32,328	31,681	38.6	34.8	33.6
最終需要計	90,189	92,893	94,202	100.0	100.0	100.0

用語の解説 [最終需要]

最終需要 = 域内最終需要（最終消費 + 投資） + 輸出 + 移出。生産活動は、最終需要を過不足なく満たすために行われている。言い換えれば、最終需要が生産を誘発する。

最終需要と生産誘発額

生産誘発額をみると、移出による誘発額が最も高く、次いで民間消費支出、輸出の順となっている。



	生産誘発額(10億円)		生産誘発係数(倍)		生産誘発依存度(%)	
	中部H7	中部H12	中部H7	中部H12	中部H7	中部H12
最終需要計	114,578	114,533	1.2326	1.2155	100.0	100.0
家計外消費支出	2,201	1,856	1.0149	0.8635	1.9	1.6
民間消費支出	25,407	23,604	0.9264	0.8589	22.2	20.6
一般政府消費支出	7,259	8,627	1.1493	1.2586	6.3	7.5
地域内総固定資本形成	18,131	15,343	1.1733	1.0140	15.8	13.4
在庫純増	208	52	0.7565	3.0147	0.2	0.1
輸出	13,988	17,787	1.5561	1.6304	12.2	15.5
移出	47,384	47,264	1.4657	1.4919	41.4	41.2

用語の解説 [生産誘発額、生産誘発依存度、生産誘発係数]

[生産誘発額]

最終需要を賄うために直接・間接に必要な地域内生産額を生産誘発額といい、これを最終需要の項目別にみたものが、最終需要項目別生産誘発額である。

[生産誘発依存度]

各産業部門(あるいは産業計)における生産誘発額の最終需要項目別構成比であり、

ある産業における最終需要項目別生産誘発額

当該産業における最終需要全体における生産誘発額(当該産業の域内生産額)

[生産誘発係数]

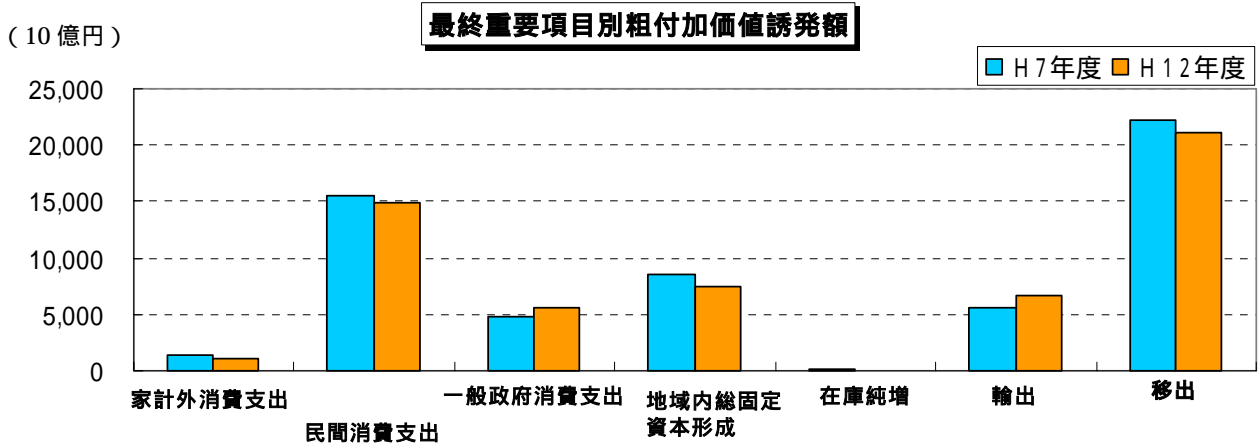
各項目別最終需要額計に対する、ある産業部門における当該最終需要項目による生産誘発額の比率であり、何倍の地域内生産が誘発されたかを示している。

ある最終需要項目における各産業の生産誘発額

当該最終需要項目の最終需要計算

最終需要と粗付加価値誘発額

粗付加価値誘発額をみると、移出による誘発額が最も高く、次いで民間消費支出の順となっている。



	粗付加価値誘発額(10億円)		粗付加価値誘発係数(倍)		粗付加価値誘発依存度(%)	
	中部H7	中部H12	中部H7	中部H12	中部H7	中部H12
最終需要計	58,054	56,677	0.6245	0.6015	100.0	100.0
家計外消費支出	1,406	1,064	0.6481	0.4950	2.4	1.8
民間消費支出	15,492	14,867	0.5649	0.5410	26.7	26.2
一般政府消費支出	4,783	5,597	0.7572	0.8167	8.2	9.8
地域内総固定資本形成	8,591	7,418	0.5559	0.4903	14.8	13.1
在庫純増	89	34	0.3231	2.0000	0.2	0.1
輸出	5,522	6,608	0.6143	0.6057	9.5	11.6
移出	22,172	21,089	0.6858	0.6657	38.2	37.2

用語の解説 [粗付加価値誘発額、粗付加価値誘発依存度、粗付加価値誘発係数]

[粗付加価値誘発額]

各最終需要によって生産が誘発されれば、それに伴い粗付加価値も誘発される。この誘発額を粗付加価値誘発額という。

[粗付加価値誘発依存度]

各産業部門（あるいは産業計）における粗付加価値誘発額の最終需要項目別構成比であり

$$\frac{\text{ある産業における各最終需要項目別粗付加価値誘発額}}{\text{当該産業における最終需要全体による粗付加価値誘発額（＝当該産業の粗付加価値額）}}$$

当該産業における最終需要全体による粗付加価値誘発額（＝当該産業の粗付加価値額）

[粗付加価値誘発係数]

各項目別最終需要額計に対する、ある産業部門における当該最終需要項目による粗付加価値誘発額の比率であり、何倍の粗付加価値が誘発されたかを示している。

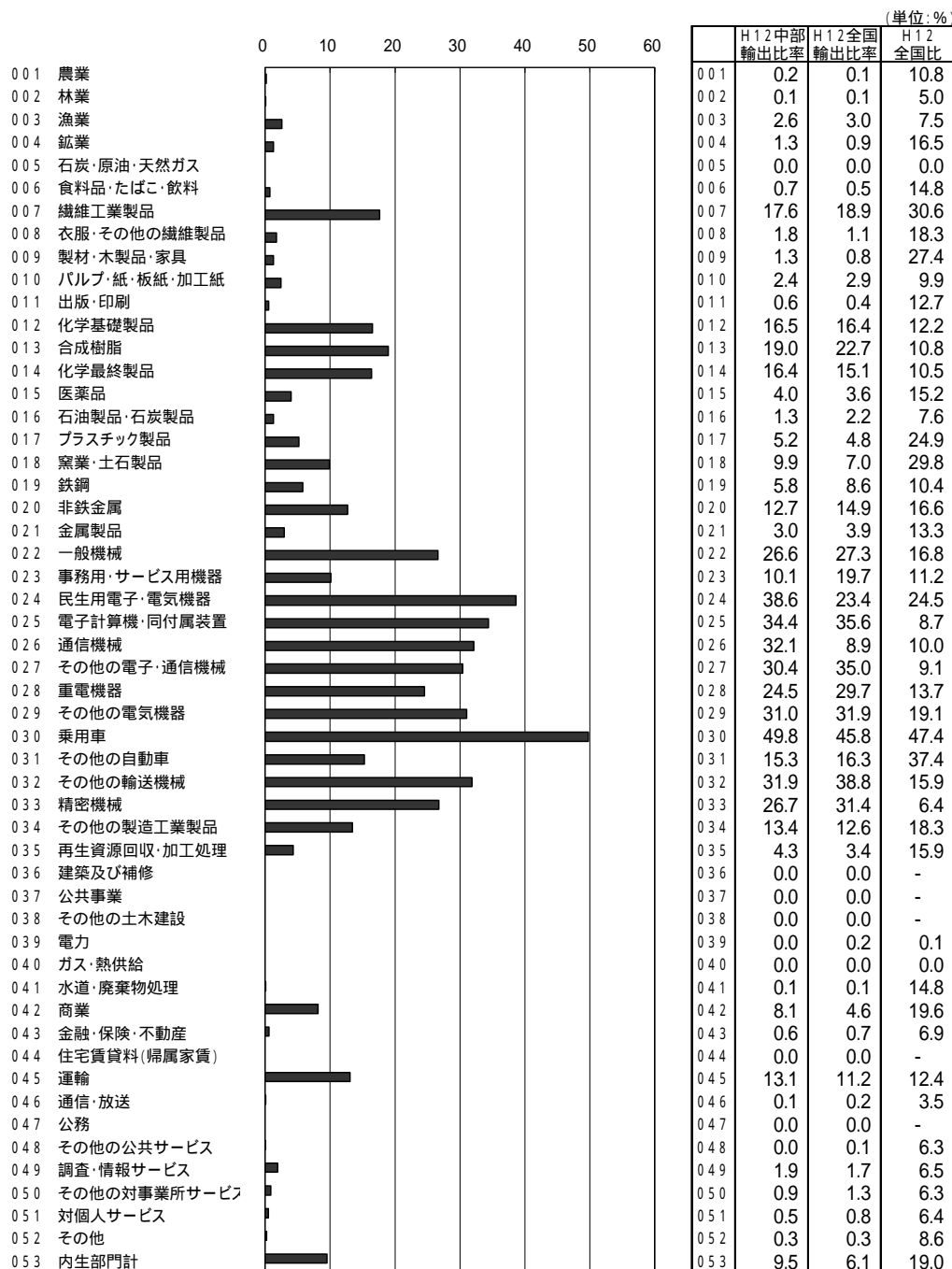
$$\frac{\text{ある最終需要項目における各産業の粗付加価値誘発額}}{\text{当該最終需要項目の最終需要計}}$$

当該最終需要項目の最終需要計

輸出

平成12年の地域内生産額に占める輸出の割合は、約9.5%と全国平均より高めになっている。また、中部の対全国比は約19%になっている。

地域内生産額に占める輸出の割合

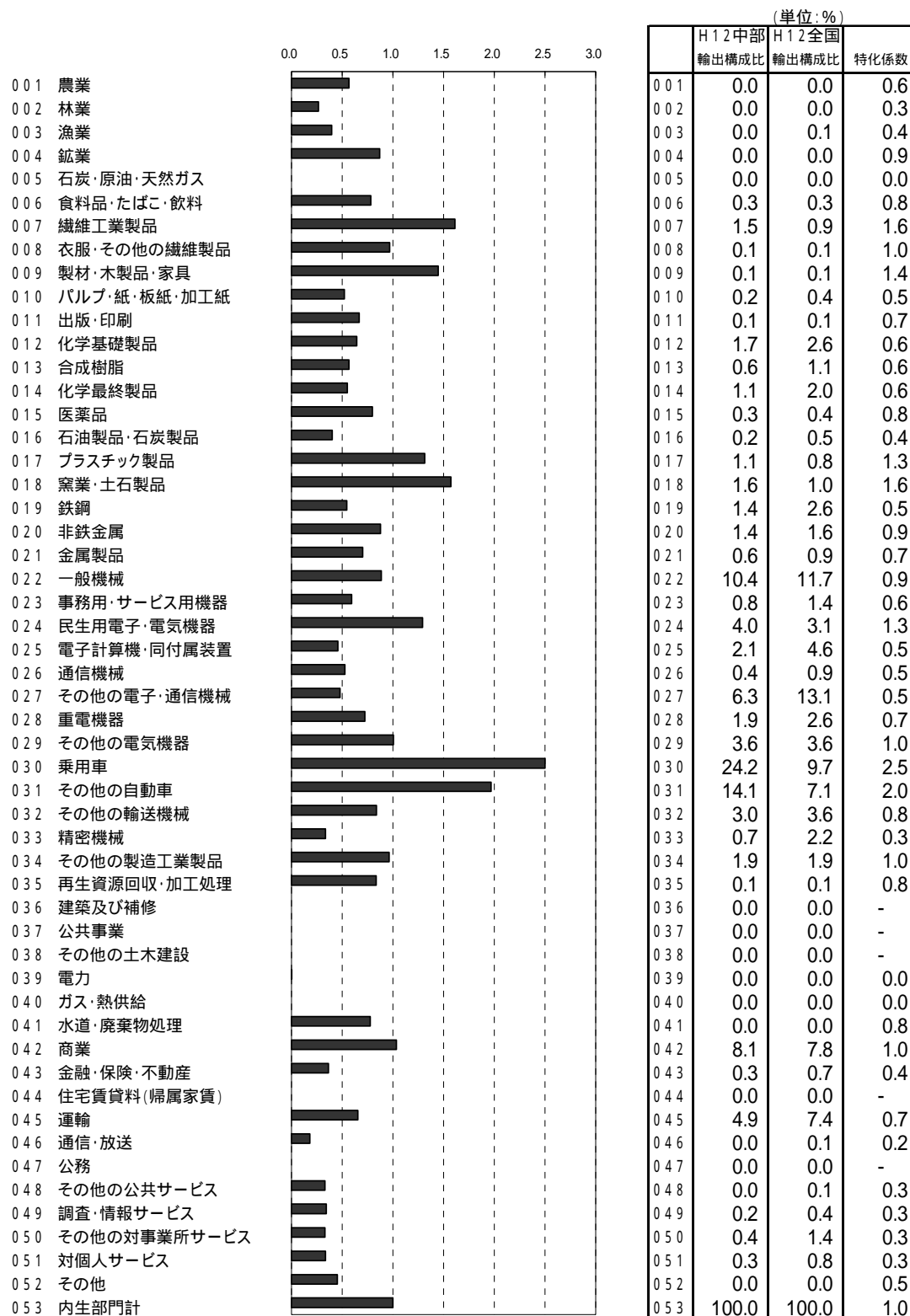


(注) 1. 輸出比率 = 輸出額 ÷ 生産額 (CT)

2. 全国比 = 中部輸出額 ÷ 全国輸出額

平成12年の輸出の構成比をみると、輸送機械の割合が高くなっている。

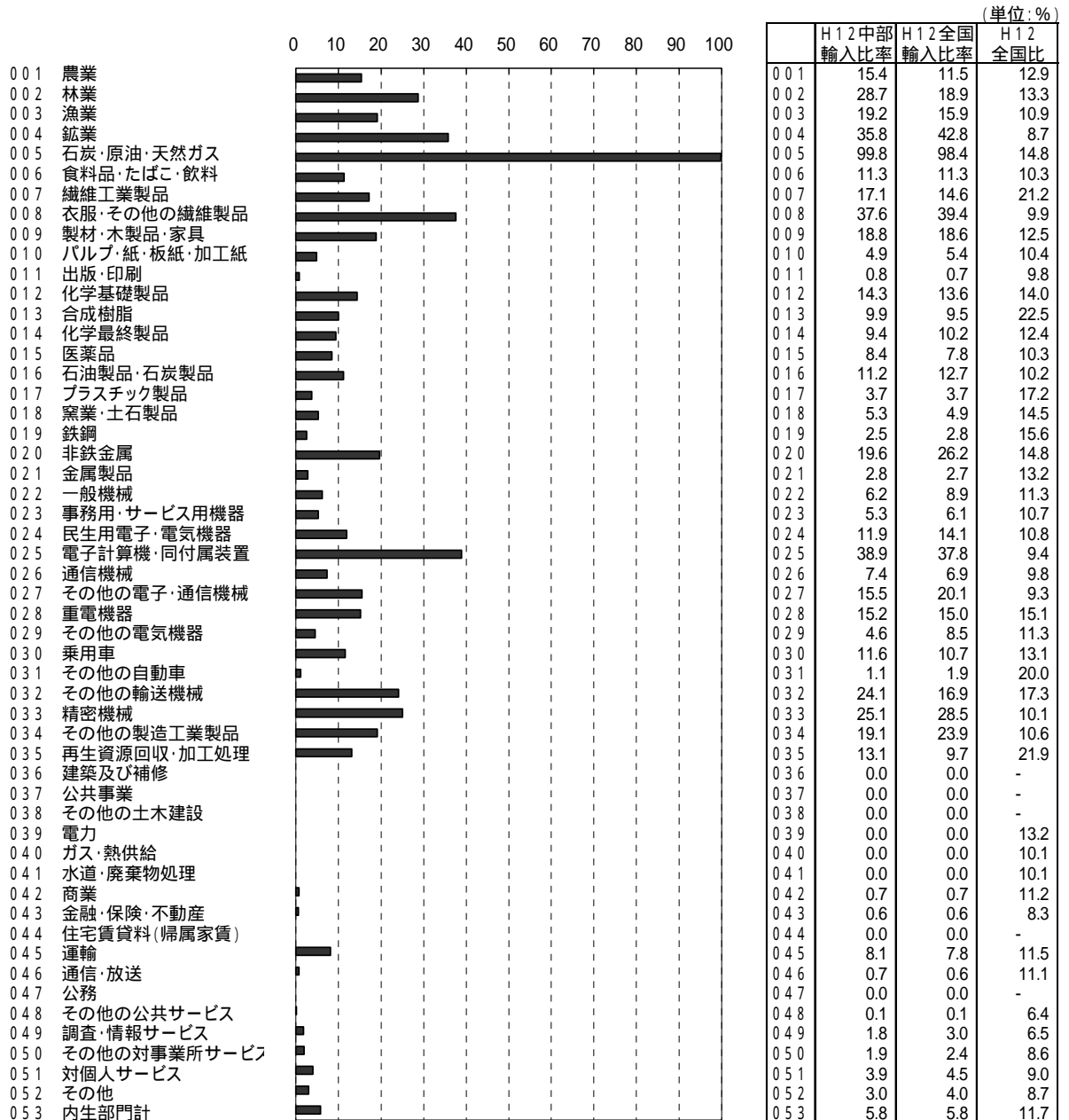
輸出の特化係数（グラフ）



輸入

平成12年の地域内需要に占める輸入の割合は、約5.8%と全国平均的になっている。また、中部の対全国比は約11.7%になっている。

地域内需要に占める輸入の割合

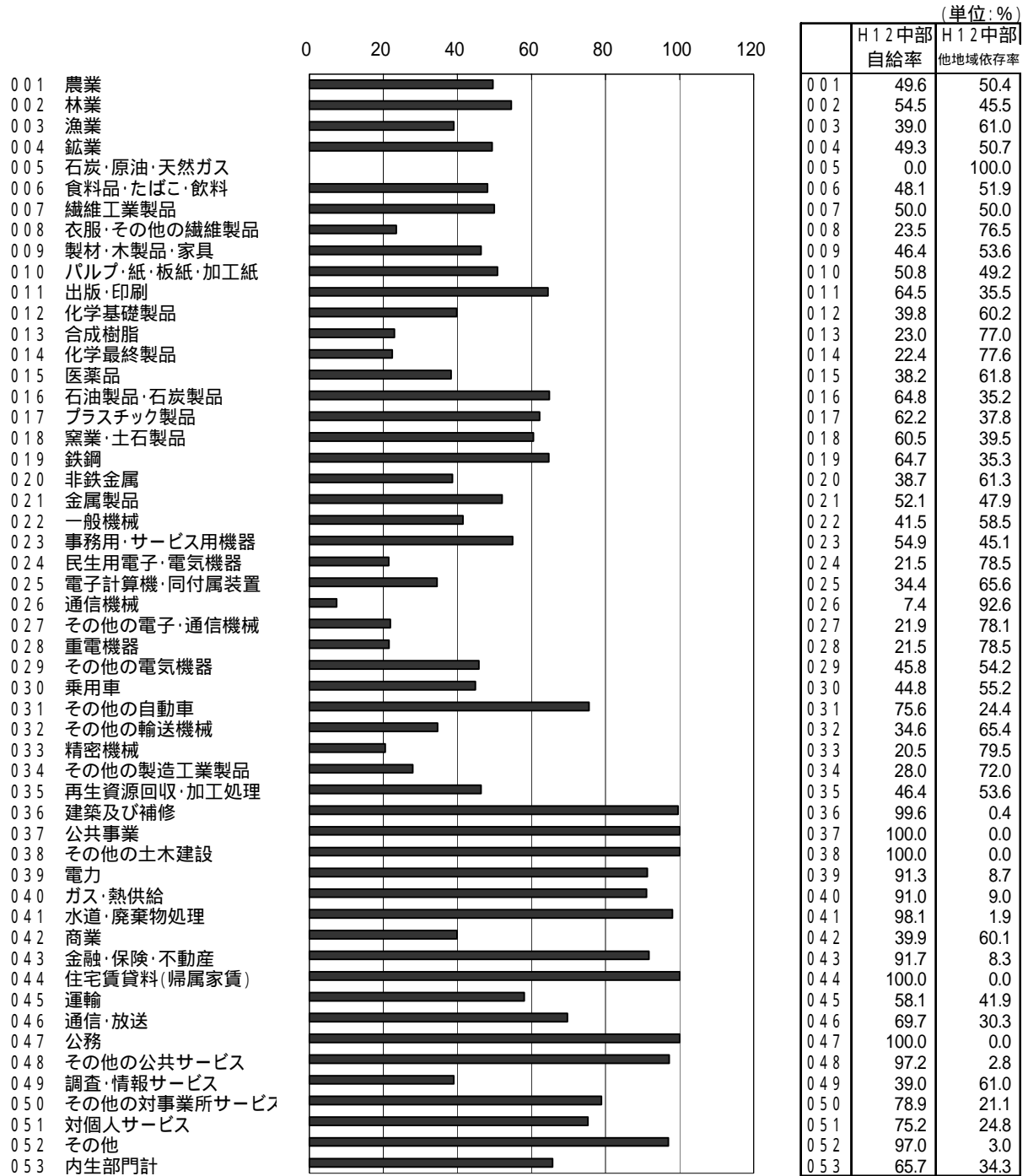


(注) 1. 輸入比率 = 輸入額 ÷ 地域内需要
 2. 全国比 = 中部輸入額 ÷ 全国輸入額

自給率

管内の自給率をみると、約65.7%になっている。

自給率

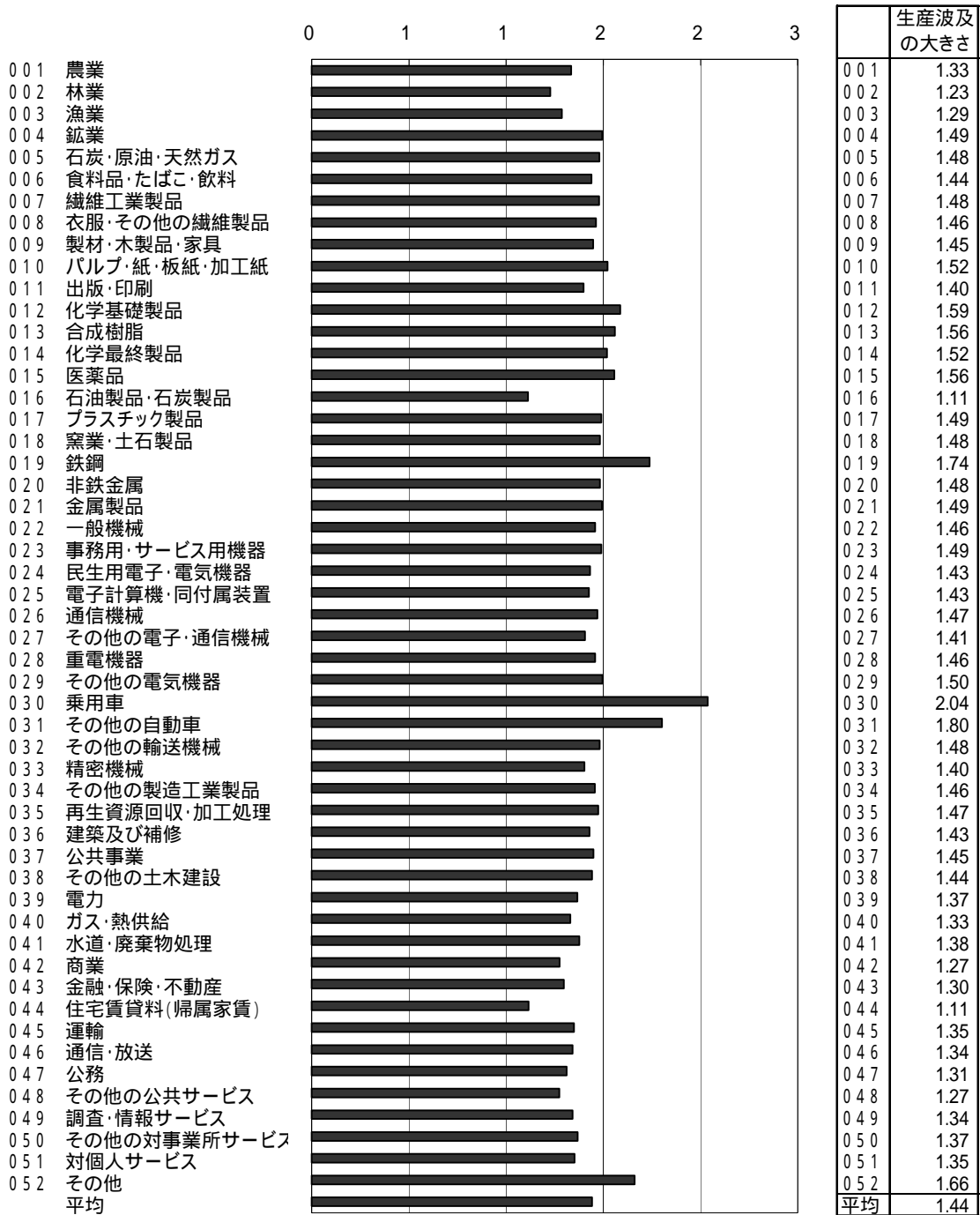


(注) 自給率 = 1 - 輸移入比率 (他地域依存率)

輸移入比率 = (輸入額 + 移入額) ÷ 地域内需要

生産波及の大きさ

1単位の需要をみたすために生じる生産波及の大きさは、全産業平均で1.44倍になっている。



(注).ある産業に1単位の最終需要が発生した場合、各産業の生産が究極的にどれだけ必要となるかという生産波及の大きさを示す係数である。生産波及の大きさの合計は、逆行列係数表の列和(タテ方向の合計)で示される。